

第26回信用金庫社会貢献賞会長賞を受賞しました。

上田市、上田商工会議所、有限会社和晃、上田バス、上田電鉄、上田信用金庫をコアメンバーとして立ち上げた「上田市公共交通キャッシュレス化プロジェクト」をはじめとする「上田市スマートシティ化計画の推進支援」が第26回信用金庫社会貢献賞の最高賞に当たる会長賞を受賞し、令和5年6月21日に開催された全国信用金庫協会通常総会の議事に先立ち、表彰を受けました。

今後も取引先事業者の課題解決、本業支援に取り組んでまいります。



左より 一般社団法人全国信用金庫協会 会長 御室 健一郎 様、当庫理事長

地元自治体、商工会議所と連携し 取引先独自技術を社会に実装へ 地域経済の活性化につなげる

上田信用金庫は2016年、長野県上田市（以下「市」と）と上田商工会議所（以下「商工会議所」と）連携して、中小企業の生産性や経営力の向上を支援し、地域産業力の強化を図り地域活性化につなげるため、「上田市キャラバン隊（ビジネスサポートチーム）」を立ち上げた。そこへ、当金庫取引先の有限会社和晃（以下「当社」）から

独自開発のQRコード決済システム（以下「チケットQR」）の活用方法について相談があった。当金庫で調査したところそのシステムは特許を取得した高度な技術であり、さらに低コストでさまざまな決済サービスに対応できることから、市が推進する「スマートシティ化推進計画」の中核技術として活用可能と判断できた。

2020年9月、鉄道やバスなどの地域公共交通の事務効率化や顧客利便性の向上を目指し、当金庫、当社、市、商工会議所、上田電鉄、上田バスをコアメンバーとして「上田市公共交通キャッシュレス化推進プロジェクト」を立ち上げた。2021年10月、地元私鉄や市内のほぼ全てのバス路線にチケットQRを導入。現在はタクシーへの導入を進めている。なお、チケットQR導入には、長野県（以下「県」）や国の補助金を充てるなどして、交通事業者の費用負担軽減を図っている。

2021年12月、利用者が市内の飲食店、小売店などでチケットQRを使用し、買い物をする割引（プレミアム率20%）が受けられる市の消費喚起応援事業「がんばろう上田！チケットQR」を開催（2回目は2022年9月、3回目は2023年2月実施）。

応援事業の実施効果により2022年11月時点でダウンロード数が11万件を超えた。その後、近隣の市町村でもチケットQRを用いた消費喚起事業が実施され、社会実装に向けて広がりを見



バス運賃をチケットQRで決済



バスに設置された端末



チケットQRを利用して電車運賃を決済する乗客

本活動は、2021年度の地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」に認定され、地方創生担当大臣から表彰を受けた。



2020年9月25日、上田バス管平高原線実証実験スタート記者会見。その年の10月1日から実証実験を開始した



上田市公共交通キャッシュレス化プロジェクト会議（2023年2月開催）



路線バスにおけるQRコード決済を案内するパンフレット



チケットQRが設置されたバス



導入を進めているタクシー用端末



上田市消費喚起事業パンフレット



2022年3月、地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」に認定され、野田聖子地方創生担当大臣(当時)から表彰を受ける小池文彦理事長

地域の未来を若者たちに託す

上田信用金庫 理事長
小池 文彦

このたびは、第26回信用金庫社会貢献賞「会長賞」受賞という栄誉を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

地方の人口減少は深刻な問題であり、持続可能な地域づくりのためには、若者たちが地域に根付くこと、流出を防ぐことが不可欠でございます。若者が地域に根付くためにも、魅力ある地域づくり、デジタル化による住みやすい地域づくりが必要となっております。

若者たちが、「残りたい、住みたい」と感じる持続可能な地域づくりのためにも、今回の「上田市公共交通キャッシュレス化プロジェクト」が、果たす役割は大きいものと信じております。

これから訪れる未来に、若者たちが、お年寄りの手を取って、バスや電車に乗る姿を思い浮かべております。そんな未来の地域づくりを目指し、今後も信用金庫の業務に邁進する所存です。

地域の繁栄に貢献する

上田信用金庫 業務部(地域活性化チーム)
宮島 博仁

このたび、創立100年を迎えた当金庫にとって、第26回信用金庫社会貢献賞「会長賞」という栄誉ある賞を頂き、心より感謝申し上げます。

上田市では、スマートシティ化を進めることで未来に向けて持続可能な都市に発展させるという計画を策定推進しており、各種施策の一つとして動き出した取り組みが「上田市公共交通キャッシュレス化推進プロジェクト」でした。

プロジェクトには、事業者支援を行っている上田市・上田商工会議所・当金庫の3者により組織している「上田市キャラバン隊」が深く関わっており、開発企業や交通事業者と課題を共有しながら、QRコード決済「チケットQR」アプリの機能アップや2023年社会実装に向けて準備を進めております。

今後も「地域の繁栄に貢献する」という経営理念のもと、様々な課題に目を向け地域貢献活動に取り組んでまいります。



受賞に寄せて

上田市長
土屋 陽一

このたびの、第26回信用金庫社会貢献賞「会長賞」のご受賞、誠にありがとうございます。

上田信用金庫様におかれましては、「人とのふれあいを大切に、地域の繁栄に貢献する」という経営理念のもと、令和元（2019）年12月、本市と上田商工会議所との3者による「包括連携協定」締結を契機として、地域産業の活性化や快適で暮らしやすい環境づくりの取り組みに力を注いでこられましたことに、心より敬意を表します。

今回受賞された「上田市スマートシティ化計画の推進支援」は、公共交通が抱える輸送人員減少に伴う収益悪化の課題解決に向け、「利用者の利便性向上」と「事業者の生産性向上」に寄与するとともに、コロナ禍における中小事業者支援のための消費喚起のツールとしても大きな効果をもたらしており、このたびのご受賞は大変嬉しく、誇りに思います。今後も、上田信用金庫様が地域に愛される金融機関として発展されますことを祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。